

みしま



水位が上昇し濁流となって流れる只見川
(7月30日午前6時ごろ)

豪雨で只見川氾濫 幹線道路寸断、流域で大きな被害



冠水した国道400号赤谷橋付近
(7月30日午前6時40分ごろ)



崩落した国道252号柳津町飯谷字村上地内
(7月30日午後2時ごろ)

猛烈な集中豪雨が奥会津を襲いました。只見川が氾濫し、想像を絶する水位まで上昇。只見町や金山町では橋が流失するなど甚大な被害が出ました。三島町でも三島大橋の橋げたに迫るほど水位が上昇し、一部に避難指示・勧告を出しました。水位は7月30日朝にピークとなり浸水被害が発生。また国道252号柳津町境界付近が路肩崩落で通行止めとなるなど、生活に大きな影響が出ています。

2011
8

広報みしま No. 221

光ファイバーケーブルを活用した 情報通信事業

町では光ファイバーケーブルを町内全域に敷設し、これを活用した情報通信事業を今後実施していきます。ケーブルテレビによる難視聴地域の解消や高齢者世帯への対応、防災告知・町内無料テレビ電話を実現する情報通信端末の全世帯配備による防災体制の強化、地域コミュニケーションの向上を図ります。



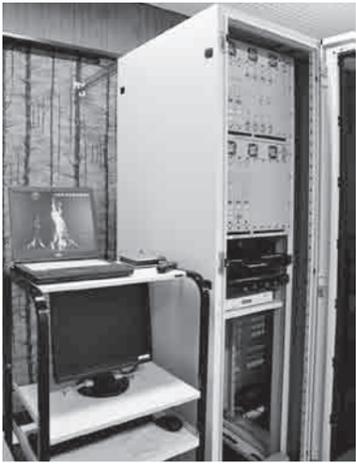
光ファイバーケーブルは直径約1.5cm。その中にはガラスの細い繊維でできた光ファイバーの束が通っています。このケーブルが町内全域に敷設されています。



電柱を渡って総延長38.9kmの光ファイバーケーブルが敷設されました。白い箱から伸びているのが町の光ファイバーケーブル。黒い箱から伸びているのはNTTの電話線です。



防災告知・町内無料テレビ電話を可能にする情報通信端末は今年度、全世帯に配備します。これも光ファイバーケーブルの活用により実現されるものです。



役場2階に整備されたテレビのセンター設備。デジタル放送の電波を受信し、ケーブル網を利用して各家庭に送信します。

町事業でケーブル敷設
テレビのデジタル化にも対応

民間業者による高速情報通信網整備の見込みがなかった三島町では、今後の町民生活や産業振興などに必要不可欠な基盤として平成21年度、町の事業により町内全域に光ファイバーケーブルを敷設しました。これにより高速インターネットサービスが可能となったほか、遠隔地との高速情報通信により医療や産業、教育などへの応用ができる基盤ができました。

一方で国の事業により、テレビ放送のデジタル化が実施されました。これまでのアナログ放送が終了するため、各家庭ではテレビを買い替えるなどの対応が必要となりました。また難視聴地域では共聴施設の改修が必要となり、費

町の情報通信事業

事業内容	事業費	整備年度
光ファイバーケーブル敷設	1億2600万円	平成21年度 (実施済み)
テレビ放送設備	1億4275万円	平成22年度 ～平成23年度
情報通信端末整備 (防災告知・町内無料テレビ電話)	1億4934万円 (契約額)	平成23年度 (実施予定)

用負担などの問題が持ち上がりました。さらに高齢者世帯での対応困難など、テレビが見られない事態が心配されました。(※東日本大震災で被災した福島県・宮城県・岩手県では、テレビの完全デジタル移行が平成24年3月31日まで延長されました)

テレビは娯楽だけでなく、日ごろの情報入手や防災においても欠かせないものです。町では平成22年度から、光ファイバーケーブルを活用したテレビ放送設備を整備。役場庁舎に整備したセンター設備でデジタル放送電波を受信し、ケーブル網を利用して各家庭に送信します。またデジタル放送をアナログ放送に変換した送信(デジアナ変換)を実施し、従来のアナログテレビでも見ることができるようになります(平成27年3月まで)。加入すると家庭のアンテナは不要となり、維持管理の心配もなくなります。これにより難視聴地域を解消するとともに、高齢者世帯などでテレビが見られないことがないよう対応します。現時点での加入申し込みにより難視聴

地域はすべて解消されることになり。また町の自主放送を行い、身近な話題や議会などを簡易な番組で放送する予定です。すべてのサービスを含めた視聴料は月額500円を予定しています。

**情報通信端末を全世帯設置
暮らしに安全・安心を**

防災告知・町内無料テレビ電話の端末は今年度、全世帯に配備します。これも光ファイバーケーブルの活用により実現されるものです。現在使用している防災無線戸別端末は平成5年に配備されましたが、老朽化により故障が相次いでいます。これに代わるものとして防災告知端末を配備し、ケーブル網を利用した聞きやすい音声と文字による情報を受信できるようになります。またテレビ電話機能が付いており、町内は無料で利用することが出来ます。地域のコミュニケーションを促進するとともに、画面で顔を見ながら通話できることで高齢者などの安心にもつながると考えています。

ケーブルテレビ先進地
西会津町で
インタビュー

ケーブルテレビは どうですか？

西会津町では平成5年からケーブルテレビのサービスを開始しました。独自のニュース番組を制作するなど放送内容やサービスが充実しており、ほとんどの町民が加入しています。西会津町でお話を聞きました。



西会津町
三留定志さん、育子さん

町の人々の近況が分かる 会話も増えた気がします

デメリット？ 特にないですね

私たちが住んでいる地区は共同アンテナだったため、ケーブルテレビに加入しなければテレビが見られなくなる事もあり、加入せざるを得ませんでした。今では生活の中で必要なものの一つです。一日に平均4時間ほどテレビを見ますが、ケーブルテレビは1時間か1時間半程見ています。さゆりチャンネル(西会津町で制作したニュース番組)では、町内の地区の紹介やペット紹介のコーナーなど楽しみにしています。地区紹介は、普段離れていてなかなか顔を合わせない人の近況を知ることができ、「元気でやっているな」とテレビを通じて知ることができます。町の人との話題も増えた気がします。町のスポーツ大会も放送されるので、テレビを見る楽しみが増えました。ケーブルテレビがあつて悪くなったことはありません。メリットのほうが多いからです。

住民が主役になれる醍醐味 町がより身近に感じられる

議会も身近に感じます

西会津町 えちご屋店主
古俣卯佐利さん

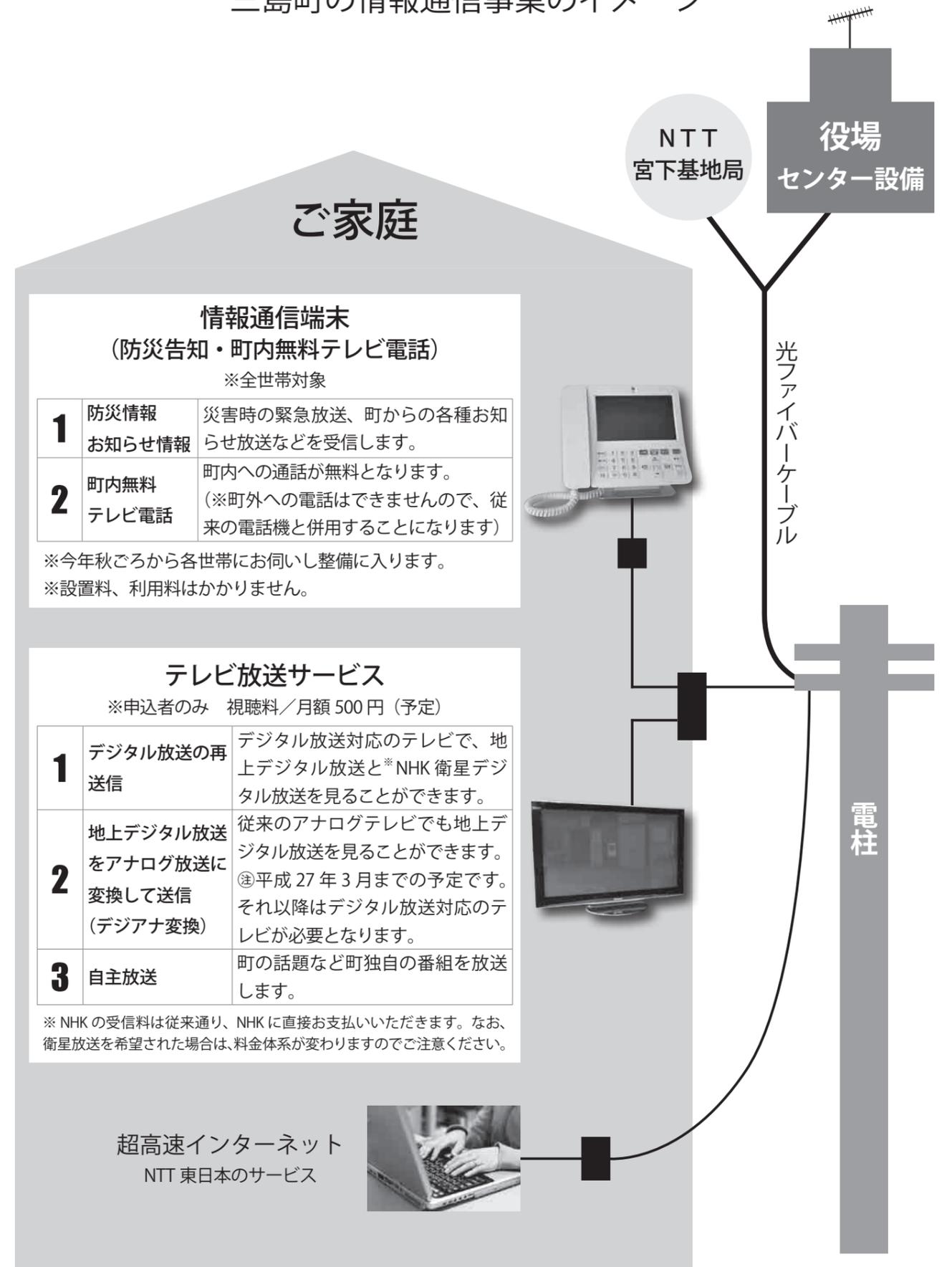


住民が主役となれることが大きなメリットだと思います。議会の中継は特に有意義だと感じます。傍聴席で議会を聞くよりも、ブラウン管から放送されることは、町民にとっても議員にとっても、特別な意味があると思います。

他にもさゆりチャンネルの地区紹介で、知り合いが元気でいる姿を見れる事もいいですね。西会津は結構広いのでなかなか会えない人も多いです。広報紙だけでは伝わらない情報を手で取ることができます。またお悔やみ情報はとてもありがたいです。知らなかった！ということが減った気がします。

議会中継や地区のニュースのおかげで、町がより身近に感じられる気がします。ケーブルテレビは多額の費用がかかります。現在でもケーブルテレビについては賛否両論があります。しかし便利な物です。今では無いと困りますね。

三島町の情報通信事業のイメージ



9/4^日 第10回 会津地鶏まつり

午前10時～午後3時
会場／美坂高原



前売券1口3,700円【100口限定】

※うち100円は東日本大震災の義援金とさせていただきます。

内容／3～4人前の地鶏肉、地元野菜、炭火コンロセット



※町外の方は美坂高原の入園料が必要ですが、バーベキューセットをお申し込みの場合は1口につき3名様まで入園無料です。

※今回は地鶏雛の配布は行いませんが、雄2羽、雌3羽、雛10羽のふれあいコーナーを設けます。

問合せ・申込／役場 産業建設課 ☎0241(48)5566

地鶏キャラクターネーミング募集

会津地鶏のキャラクターの名前を募集します。役場窓口、道の駅尾瀬街道みしま宿で応募用紙と受付箱を用意しますので、奮ってご応募ください。最優秀賞に選ばれた1作品には、景品として会津地鶏セット3羽分を進呈します。

応募締切 8月12日^金

役場 産業建設課 ☎(48)5566

ぼくに名前を付けてください



三島町テレビ放送サービス 加入世帯追加募集

電波状況の良い地域の方も、加入すると家庭のアンテナは不要となり、維持管理の心配もなくなります。また地デジ対応テレビやチューナーがなくても、平成27年3月まで従来のアナログテレビをそのまま利用できます。また自主放送により町内の身近な話題やイベントなどを放送します(今年10月スタート予定)。

なお、今回新たに申し込まれたご家庭への接続は年内(12月中)の見込みです。昨年度申し込みをされなかった方は、追加募集を実施しますのでどうぞお申し込みください。

◎申込方法 役場窓口で配布している申込用紙に記入し提出してください。

◎視聴料 月額500円(予定)

役場 総務課 ☎(48)5515

自主放送準備中

取材に伺います。

皆さんからの話題提供をお待ちしています。

役場 地域政策課 ☎(48)5533



◎編集を終えて
町の自主放送を開始するに当たり、西会津町ケーブルテレビ放送センターのスタッフの皆さんの話を聞き取りました。必要な機材や番組制作について非常に参考になりました。そこで痛感したのは、テレビ放送を本格的に取り組むには、高額な費用と労力が必要だということでした。三島町では高額な設備投資や職員の増員は難しい状況です。町の自主放送では、テレビ局のような充実した内容や洗練された編集はできないかもしれませんが、しかし町の話題を盛り込んだ町民が主役の番組を放送することで、地域の活性化に役立ちたいと考えています。

現在、自主放送の準備を進めており、町内の出来事をビデオカメラで撮影し、試験的に番組を編集しています。限られた条件で少しでも良い番組を作りたいと思いますので、皆さんのご協力をお願いします。

特集「光ファイバーケーブルを活用した情報通信事業」終わり

身近な情報をお寄せください。

◎地域政策課 美しい村づくり班 ☎(48) 5533



川井地区の国道 252 号で行われた該当キャンペーン

安全運転をお願いします 夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動

夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動の街頭キャンペーンは7月20日、川井地区の国道252号沿いで行われました。町交通安全対策協議会、町交通安全母の会、会津坂下警察署、県宮下土木事務所などが参加し、通行するドライバーに、交通安全を呼びかける記念品を配りました。期間中だけの交通安全ではなく、いつも安全運転をお願いします。



星ハツ子さんが語る民話を夢中で聞く子どもたち

本に親しみ、心豊かな子になってほしい 絵本とお話の会

絵本とお話の会は6月30日、町民センター内のゆめポケットで行われました。同会メンバーの星ハツ子さん、北館緑さん、小平佳子さんが、三島小学校1・2年生の子どもたちに、民話と絵本の朗読をしました。小平さんは「この会を通して、本に親しみ、色々な本からテーマを感じとって、心豊かに成長してほしい」と話しています。この会は隔週木曜日に開催予定です。



町民センターで行われた交通安全教室

事故は一瞬、車は一気にやってくる 高齢者交通安全教室

高齢者交通安全教室は7月20日、町民センターで行われ約50人が参加しました。県警察本部企画課の方から、道路横断時の注意について講話しました。高齢者の事故では特に横断時の事故が多いと言います。お話の後に、特殊な機器を使い、道路横断中に車が一気に迫ってくる感覚を体験し、車が近づいてくるスピードは想像以上に早いことを再確認しました。



自分で作った七夕飾りをくくりつける子どもたち

短冊に願いを込めて 三島保育所で七夕飾り作り

三島保育所で7月7日、子どもたちが七夕飾りを作りました。ワンダークラブの子ども達も参加し、願いごとを書いた短冊を竹にくくりつけました。願い事には将来の夢や、「好き嫌いをなくせますように」といった、願いが込められていました。今年の七夕は晴れ。おり姫とひこぼしは無事天の川を渡り、出会えたようです。子どもたちの願いもきつとかなうでしょう。



会津宮下駅で列車を見送る獅子と子ども達と、ひよつとこ

記念列車の旅をおもてなし 全線開通 40 周年

JR只見線全線開通40周年の記念列車が7月23日・24日、会津若松駅 - 只見駅間で運行され、DE10機関車が旧型客車を引っ張り、夏の会津を駆け抜けました。会津宮下駅では町民の皆さんが会津地鶏弁当、カレーパンなどを販売しました。また二瓶隆司町長が会津若松駅の一駅長を務めました。会津若松駅では三島太神楽保存会の皆さんによる神楽が披露されました。



優勝した三島パープルレディースの皆さん

三島パープルレディース優勝 県民スポーツ両沼大会 家庭バレーボール

県民スポーツ両沼大会は7月10日湯川村で開催されました。三島町からは壮年ソフトボール、家庭バレーボール、卓球の3競技に出場しました。卓球は健闘しましたが、惜しくも予選リーグ敗退。壮年ソフトボールは3位入賞、家庭バレーボールに出場した三島パープルレディースは見事優勝を果たしました。おめでとうございます。



晴天の中ウォーキングを楽しむ参加者の皆さん

早戸の自然を楽しんでください 神々の道と霧幻峡ウォーキング大会

早戸地区の神々の道と三更地区の霧幻峡を歩くウォーキング大会は7月16日に行われ、町内外から大勢の方が参加しました。この会は、あいつ歩こう会が7月の定例会として主催したものです。当日の天気は快晴。つるの湯の駐車場を出発した参加者は、夏の風景を楽しみながら歩きました。ウォーキング後は、つるの湯につかり、汗と疲れを洗い流しました。



カーブミラーを一つ一つ清掃した参加者の方々

町内の全てのカーブミラー清掃 交通安全協会三島分会、町交通安全対策協議会

交通安全協会三島分会、交通対策協議会の方々がによって、7月16日にカーブミラー清掃が行われました。炎天下の中、町内の道路に設置された全てのカーブミラーを清掃しました。秦兵輔会長は「ミラーは一時も休まず運転者を見守り、随分汚れています。ミラーに感謝の気持ちを込めて、清掃活動は大切な事業として取り組んでいます」と話しました。



1

1_ 香都美容室を訪れた細堀華さん(中平)。諏訪静江さんから編み込みを習った 2_ 三島駐在所を訪れた中丸拓くん(宮下)。松本哲巡查長から警察官の仕事内容を教わった 3_ ログハウスどんぐりを訪れた渡部颯人くん(大石田)。店主の海老名健さんからきゅうりの飾り切りなどを教わった。「包丁さばきがいいなあ」と海老名さん



2



3

三島中1年生が職場見学

将来の仕事を考えるきっかけに

三島中1年生の職場見学は7月1日、町内で行われました。この授業は、「生徒に将来の職業について考えるきっかけにして欲しい」という目的で実施されたものです。職場見学は午前中の全体見学と、午後の個人見学の構成で実施されました。全体見学は役場の町長室、道の駅尾瀬街道みしま宿、会津地鶏みしまやを訪れ、質問の他、生徒の目線で考えた「西方のほたるをPRした町づくり」や「道の駅の新メニュー」などの提案を行いました。

個人見学では生徒が一人ずつに別れ、町内で仕事をしている方々の職場を訪問しました。香都美容室を訪れた細堀華さんは、諏訪静江さんから、編み込みを習い、仕事を選んだ理由や、仕事をして良かった事などを諏訪さんから聞ききました。ログハウスどんぐりを訪れた渡部颯人くんはシュークリーム作りや野菜の飾り切りなどを店主の海老名健さんから教わりました。海老名さんは「颯人くんは包丁さばきが

いいですね。なかなかのものです。将来、町で店を開いてくれるのが楽しみです。その時はお互いに美味しい料理を作れたらと思います」と話しました。颯人くんは「仕事をしてお金をもらおうということ、想像以上に大変なことだと思いました」と話しました。中学時代は自分がどんな仕事をしたいのか、どういう道に進みたいのかを考える時期です。町内の方々の協力です。生徒たちは将来について、より具体的に考えるきっかけになったのではないのでしょうか。



1

1_ バレーボール教室終了後に中村さんを囲んでの記念撮影。児童が手に持っているのは中村さんから贈られた金メダルのポストカード(サイン入り) 2_ スパイク練習の様子。「スパイクの秘訣はボールと握手」と中村さんは話した

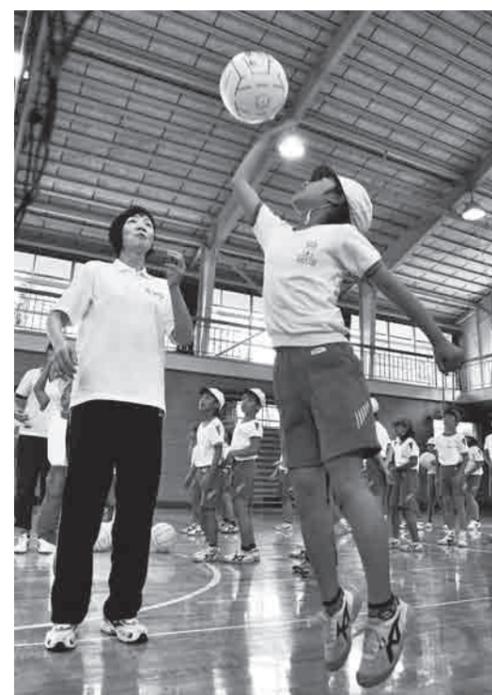
モントリオールオリンピック 女子バレーボール金メダリスト

中村きよみさんによる バレーボール教室

『つらくても諦めないで
続けることで道は開けます』

モントリオールオリンピック女子バレーボール金メダリスト、中村きよみさん(旧姓加藤)のバレーボール教室は7月5日、三島小体育館で行われました。この教室は文部科学省と公益財団法人日本体育協会が主催する「子どもの体力向上啓発事業」に三島町が応募し、抽選と審査を経て採択されたものです。教室では4年生から6年生を対象に講話と実技指導が行われました。

中村さんは「続けることが何より大切。皆さんは無数の可能性を秘めています。目標を見つけたら、つらいと思っても途中であきらめず、続けることで道は開けます」と話しました。実技では全員でレシーブやスパイクの練習をし、最後にミニゲームを楽しみました。教室を通して児童たちは、バレーボールの技術だけでなく、礼儀や感謝の気持ちの大切さについても学びました。



2

空間放射線量 定期的に測定中

各地区の放射線量を随時測定しています

町では福島第一原発の事故による放射能の影響を調査するため、町内各所で空間放射線量の測定を行っています。計測結果はお知らせ版に随時掲載されています。測定器は県から貸し出された物を使用しており、他の市町村と同じ機器です。

各地区においては地上1mの高さで測定しています。三島小と三島保育所では児童の身長を考慮し、地上50cmの高さで測定しています。今後も定期的に測定結果をお知らせします。

各地区の空間放射線量測定値

計測高：地上1m

単位：マイクロシーベルト／1時間

※通常の放射線量は0.04～0.05です。

地区	測定場所	6月16日	7月27日
宮下	宮下駅前	0.14	0.12
	福寿草脇公園	0.22	0.21
荒屋敷	集会所前	0.16	0.16
桑原	消防屯所前	0.14	0.16
中平	団地中央遊具前	0.19	0.17
大登	区長宅前水場	0.14	0.16
川井	森田勝氏宅前	0.14	0.14
松原	集会所前	0.16	0.16
滝谷	消防屯所前	0.16	0.15
大谷(本村)	集会所前	0.21	0.17
大谷(鳥海)	五十嵐富一氏宅前	0.20	0.16
浅岐	集会所前	0.20	0.14
間方	消防屯所前	0.17	0.14
西方	ふるさとセンター前	0.17	0.13
	カタクリ入口	0.12	0.14
大石田	集会所前	0.11	0.13
名入	集会所前	0.12	0.18
小山	十王堂前	0.16	0.16
高清水	集会所前	0.15	0.15
滝原	集会所前	0.14	0.13
早戸(本村)	集会所前	0.16	0.13
早戸(湯ノ平)	つるの湯駐車場	0.12	0.12
	平均	0.16	0.15



放射線量測定器により町内各所で計測しています。

《放射線の単位について》

シーベルト

放射線による人体への影響度合いを表す単位

1,000 マイクロシーベルト = 1 ミリシーベルト

ベクレル

放射性物質が放射線を出す能力を表す単位

町で使用している 放射線量測定器 (ガイガーカウンター)



有効測定範囲
0.001 ～ 9.999 マイクロシーベルト／1時間

誤差
± 10%以内

がんばろう 福島・三島

風評被害に負けるな 新潟駅での産直フェアに出店 津波被害からの復興 いわき市四倉 道の駅よつくら港



写真上_新潟駅で産直市が開催され、万代口イベント広場に設けられたイベントブースに、道の駅尾瀬街道みしま宿、(有)会津地鶏みしまや、JA会津みどり三島山菜加工場、会津桐タンス(株)が出店した



写真下_6月の工人まつりに出店した、いわき市四倉の皆さん。写真後方に見えるのが、新たに購入した移動販売車

福島第一原子力発電所の事故の影響による風評被害が深刻になる中、各地で復興支援イベントが行われています。三島町からも各地に出向き、地場産品の販売や観光PR活動をしています。また、町商工会と以前から交流のある、いわき市四倉地区の「道の駅よつくら港」は復興に向けて歩き出しています。

新潟駅観光PRおよび産直市に出店

東日本旅客鉄道株式会社の新潟支社の協力で実施された産直フェア「きてくなんしょ、極上の会津へ!」は7月4日・5日、新潟駅で実施され、万代口イベント広場に特設のブース設けられました。三島町からは道の駅尾瀬街道みしま宿、(有)会津地鶏みしまや、JA会津みどり三島山菜加工場、会津桐タンス(株)が参加し、野菜、山菜、山菜加工品、地鶏カレー、桐製品などを販売しました。通勤客や駅周辺の買い物客が訪れ、三島のプー

スでは、山菜や野菜類、漬物、「みそのかくれんぼ」などが、特に人気がありました。会場では三島町のPR映像や会津のキャンペーンソングを流し、会場の雰囲気盛り上げました。また、町のパンフレットやチラシを配布し、観光・物産をPRしました。

道の駅よつくら港の復興

大津波が押し寄せ、施設が大きく損壊した道の駅よつくら港は、4月16日から土日の営業を再開し、7月からは平日も営業を開始しました。まだ電気も復旧しない中での仮営業ですが、着実に復興へ歩んでいます。6月の工人まつりには移動販売車で駆けつけ、三島の海の幸を届けました。以前の移動販売車は津波で流されたため、新たに購入して販売を再開。今後も道の駅よつくら港では、さまざまなおイベントが予定されています。四倉の皆さんも頑張ってください。三島も頑張ってください。

応急手当推進事業所に認定

三島町社会福祉協議会 道の駅 尾瀬街道みしま宿



認定証を渡された町社会福祉協議会の小松順太郎事務局長（写真左から2番目）と道の駅尾瀬街道みしま宿の二瓶優子さん（写真左から3番目）

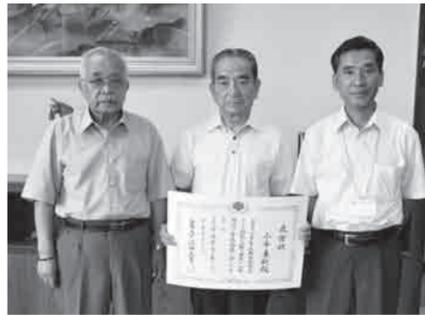
三島町社会福祉協議会と道の駅尾瀬街道みしま宿は、会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部消防長から応急手当推進事業所に認定されました。認定証の交付式は7月11日、会津坂下消防署で行われ、新井田順一署長から認定証が手渡されました。応急手当推進事業所とは、自動体外式除細動器（AED）を設置し、救命講習修了者が救急車が到着するまでの間、適切な救命処置をできる事業所をいいます。これまでに認定された事業所は、町役場、佐久間建設工業㈱、三島中学校、JA 会津みどり三島総合支店です。



道の駅に設置されているAED

小平兼嗣さんに法務大臣感謝状

人権擁護委員を4期12年務める



法務大臣感謝状を受けた小平兼嗣さん（中央）

人権擁護委員を任期満了により退任された小平兼嗣さん（西方）に法務大臣から感謝状が贈られました。伝達式は7月26日、町長室で行われ、菅家精喜福島地方務局若松市局長から小平さんに感謝状が手渡されました。小平さんは平成11年6月1日から平成23年6月31日まで4期12年にわたり人権擁護委員を務められ、人権尊重思想の普及高揚に尽力されてきました。

消防団員校外教育

日頃の訓練で万一の火災に備える



会津坂下支部の消防団員の校外教育は7月3日、会津坂下町民体育館および会津坂下小学校グラウンドで行われ、三島町からは20人の団員が参加しました。県消防学校の菅野信一教務課長を講師に迎え、安全管理と現場指揮の講義と、グラウンドでの行進指導が行われました。

春の叙勲

小松寅一郎さんに 旭日単光章



春の叙勲で旭日単光章を受章した小松寅一郎さん

春の叙勲において、小松寅一郎さん（西方）が旭日単光章を受章しました。小松さんは昭和44年に農業委員に当選し、昭和53年には会長に就任しました。在職中は町の農業振興に貢献しました。その他、町議会議員としての多大な功績が認められ、今回の叙勲となりました。小松さんは「皆さんの支えがあったからこそ、いただいた叙勲です」と話しました。

農業委員8名が決まりました

三島町農業委員会委員一般選挙は、7月5日告示で行われ、無投票で6名が当選し、JA会津みどりおよび会津農業共済推薦の2名を加えて計8名の農業委員が決まりました。農業委員会の役割は、農業担い手の育成や農地の有効利用により地域農業の振興を図ること、農地の売買転用について公正に審査すること、農業の声を行政に反映することなどです。農業委員会は毎月20日前後に開催予定です。



三島町農業委員会名簿

役職	氏名	地区	年齢	備考
会長	阿部通利	桧原	59	
職務代理	秦虎雄	大石田	66	
現地調査員	若林正光	滝谷	63	
現地調査員	坂内仁	名入	65	
	五十嵐光義	滝谷	69	会津農業共済組合推薦
	角田一晴	川井	60	
	中村秀臣	西方	76	
	小柴春雄	高清水	68	JA 会津みどり推薦

農地の売買・貸借・転用等各種申請をされる場合は、その月の10日までに役場農業委員会まで提出してください。
☎（48）5566

三島の
民話
第五話
笛吹き兄弟



三島町には数え切れないほど多くの民話があります。本に残された話、語り継がれてきた話、忘れられようとしている話……。ここでは三島町に残る昔話や伝説、世間話などを紹介します。

むかし昔なあ、笛を吹くのがとつても上手な兄弟がいたそう。兄弟は病気で死んだそう。両親は悲しくて毎晩泣いていたそう。思い余ってお寺の和尚さんに一回だけ、もう一回だけ会ってみたくてお願いしたと。和尚様は「一回だけ会せてやる」といい「今夜お寺にきなさい」と言ったそう。両親はワクワクしながらお寺に行つた。和尚様は両親を蚊帳の中に入れてたそう。「何があつてもここから出てはならぬぞ」と念を押して部屋から出て行つた。やがて真夜中になり笛の音が聞こえてきた。それはそれは美しい音でうっとりす

る位だつた。やがて兄弟は蚊帳のそばまでくるとそのまわりを何遍も回りはじめた。「人間のにおいがする」と言つて回つていたそう。蚊帳の中にいた両親は怖くなつてガタガタふるえていた。やがて夜が明けるところ、腰にさしていた刀のツカの鳥が「コケコッコ」と鳴いたそう。兄弟は蚊帳の回りを回つていたがピタッと止まり「もう少しだつたのに残念だあ残念だあ」と言つて帰つて行つた。死んだ人のことをいつまでも思う気持ちはわかるがなあ……。ざつと昔、栄えもうした

食中毒に注意

食中毒予防の三原則

- ① つけない
食品や調理器具、手指などに食中毒の原因菌・ウイルスをつけない
- ② 増やさない
冷蔵庫などで食品をしっかり保存して食中毒の原因菌・ウイルスを増やさない
- ③ 殺す
食品の加熱や調理器具の殺菌を徹底して食中毒の原因菌・ウイルスを殺す

食中毒予防の心得

- ① 手を洗いましょう
調理中もこまめに、石けんと流水で、ていねいに注意しましょう。
- ② 冷蔵庫は10℃以下、冷凍庫は-15℃以下に
詰めすぎに注意、容量の7割程度までにしましょう。
- ③ 食品の中心部まで充分に加熱しましょう
ハンバーグ、ぎょうざなどは熱が通りにくいため、特に注意しましょう。
- ④ 調理器具はこまめに熱湯等で消毒しましょう。
ふきは漂白、包丁、スポンジ、たわしも煮沸消毒をしましょう。
- ⑤ 食品は室内で解凍しない
電子レンジ、流水、冷蔵庫を使って解凍しましょう。

本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと

●利用時間 月～土 9:00～21:00
日・祝 9:00～17:00
●お休み 年末年始
●教育委員会 ☎(48) 5599

一般向け
earth code
46億年のプロローグ
GENERATION TIMES・編著
ダイヤモンド社

地球誕生から46億年。目の色も、肌の色も、目のカタチも、耳のカタチも、その全てに、途方もない年月をかけたこの星の時間が深く記憶されています。

本のリクエスト募集中
読みたい本、おすすめの本などがありましたら、図書コーナー係員にご相談いただくか、所定の用紙に記入してリクエストBOXにご応募ください。教育委員会が検討し、選定された本を購入します。

小・中学生向け
星の王子さま
サン・テグジュペリ・作
河野万里子・訳
新潮文庫

『一度読んだら必ず宝物にしたいくなる』この宝石のような物語は何十年経った今も読んだ人の心に生き続けています。「いちばん大切なことは目に見えない」。この本を読めばその理由が分かります。

小学生向け
ことば
アン・ランド&ポール・作
長田弘・訳
ほるぷ出版

「ことば」ってなんだと思いますか。明るいことば、暗いことば。わたしたちがお互いにどんな風に話かけたらいいか教えてくれます。

歳時記 萌の会

一息の喉に麦茶の味を聴く
観音像三十三通り五月雨るる
小柴盛雄 小平佳子
でこでこの昔語りに渋麦茶
山開き愛でし富士の嶺なつかしむ
佐藤朋良子 志田たつの
うだる日を甘露甘露と冷麦茶
入梅や川霧のぼる里の暮
小柴六進子 小柴有美子
虹かかり一瞬華やぐ過疎の町
若竹の意志の強さよ空の青
諸井まさ子 片山祐一
廃業の店の名ありし古団扇
風涼し仁王のわらし新しく
栗城幸子 栗城三保

宮下病院から健康のススメ しっかり食べて夏バテ予防

宮下病院 栄養士

今年の夏は去年ほどの猛暑にはならないと言われていますが、暑いことに変わりはありません。宮下病院では少しでも涼しく過ごせるよう、植物で窓を覆う緑のカーテン作りをしています。このカーテンの材料として使っているのが、にがうり、ゴーヤです。ゴーヤには疲労回復や夏バテ予防に効果的なビタミンCやビタミンB1、カロテン、カリウム、鉄などが豊富に含まれており、夏にぴったりの食材です。しかも、普通のビタミンCは熱に弱いものなのですが、ゴーヤに含まれるビタミンCは熱を加えても壊れにくいという特徴があり加熱料理にも向いています。病院にお越しの際、窓辺においしそうな実を見つけたら、夕飯の1品に加えてみてはいかがでしょうか？

これからの行事予定 town schedule

8月15日(月)

三島町成人式 10:00～ 交流センター山びこ

地域ふれあいサロン

三島町社会福祉協議会

川井友愛サロン

8月11日(木) 10:00～ 川井集会所

☎町社会福祉協議会 ☎(52) 3344

ご寄附 ありがとうございました

町へのご寄附

- シダックス(株) 代表取締役社長 志田勤一 様
- 全国森林環境税創設促進連盟 様
- (株)リナックス総合研究所 様
- 福島県町村会 様
- 中野屋食堂 様
- 根本久美 様
- 栗城トミエ 様
- 酒井佐一 様
- 小畑勲 様

三島町社会福祉協議会へのご寄附

ご遺志によるもの

- 目黒 伸喜 様 (宮下)
- 五十嵐 和吉 様 (早戸)
- 渡部 繁信 様 (大石田)
- 森田 啓悦 様 (川井)
- 布川 孝平 様 (宮下)

みんなで健康づくり 《保健事業の予定》

☎町民課 ☎(48) 5565

4カ月児健診

8月9日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院

乳幼児健診

8月25日(木) 13:00～ 町民センター

足腰げんき教室

◎室内運動編
9月6日(木) 13:30～ 町民センター

◎水中運動編

8月18日(木) 13:00 町民センター集合
西会津町民プール

機能訓練会

8月10日(水) 14:00～ 福寿草

心の健康相談 (※事前申し込み必要)

8月23日(火) 13:30～ 福寿草



広報みしま

皆さんからの情報提供を
お待ちしております

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。皆さんの思い、努力、願いなどが読者の関心を引き、感動を与えます。

「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。



☎ 地域政策課
美しい村づくり班
☎(48) 5533

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では6月中、刑法犯の発生は2件ありました。

架空請求詐欺、 東日本大震災に便乗した 詐欺に注意！！

県内で通信教育講座終了手続きの架空請求詐欺が発生！

事案の紹介
被害者(30歳代・男性)の携帯電話に「以前受講した通信教育講座が終了扱いになっていない。終了手続きをしなければ費用が請求される」という内容の連絡があり、相手方と言われるまま、現金約25万円を振り込んだしまった。(いわき市)

詐欺を見抜くポイント

- ◎急がせる振り込み依頼は詐欺を疑う。
- ◎震災に絡む預金の解約や送金、代行手続き等は詐欺を疑う。
- ◎お金を借りるのに「先に保証金を払え」というのは詐欺。
- ◎「カードを預かります」という電話は詐欺。

街頭犯罪発生状況(1～6月)

区分	管内	三島町
空き巣狙い	4	
忍び込み	1	
事務所荒らし		1
自動車盗	2	
オートバイ盗		
自転車盗	8	
自販機狙い	1	
車上狙い	6	
部品狙い	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	23	1
全刑法犯	49	2

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

自衛官募集

自衛隊福島地方協力本部からのお知らせ

自衛隊では下記の内容で自衛官を募集します。なお、申込方法や1次試験以降の試験日など、詳細については、自衛隊福島地方協力本部 会津若松出張所までお問い合わせください。

募集種目	資格	受付期間	1次試験日	試験会場
一般曹候補生	18歳～27歳未満	8月1日～9月9日	9月17日	会津大学
自衛官候補生(男性)	18歳～27歳未満	8月1日～9月9日	9月17日	会津大学
自衛官候補生(女性)	18歳～27歳未満	8月1日～9月9日	9月26日	郡山駐屯地
航空学生	高卒(見込含む) 21歳未満	8月1日～9月9日	9月23日	郡山労働福祉会館
看護学生	高卒(見込含む) 24歳未満	9月5日～9月30日	10月22日	郡山労働福祉会館
防衛大学校学生	高卒(見込含む) 21歳未満	9月5日～9月30日	11月5日・6日	郡山労働福祉会館
防衛医科大学校学生	高卒(見込含む) 21歳未満	9月5日～9月30日	10月27日	郡山労働福祉会館

☎自衛隊 福島地方協力本部 会津若松出張所
会津若松市門田町大字黒岩字大坪 57-1 ☎0242 (27) 6724

生活再建相談の実施

県消費生活センター

県では、生活設計の専門家による生活再建相談を実施しています。「これからの生活設計をどうしよう」「住宅ローンや保険の見直しはどうか」など、消費生活相談を無料で受け付けます。

☎024 (521) 0990

- ◎相談日時
毎月第4木曜 13:00～17:00 (原則)
※相談者一人あたり30分
- ☎福島県消費生活センター
福島市中町8-2 自治会館1階

労使困りごと相談会

福島県労働委員会事務局

県と福島県労働委員会では、皆さんの職場の賃金や労働条件をめぐる労使間の困りごとについて、出張相談と電話相談を行います。また来所、メールでの相談も受け付けています。相談料は無料で、秘密は厳守しますので、ぜひご利用ください。

- <出張相談>
◎日時
10月1日(土) 10:00～15:00

◎場所
会津若松市生涯学習センター
「会津稽古堂」

- <電話相談>
◎期間
10月3日(月) 8:30～
10月7日(金) 18:30まで

☎024 (521) 7594

☎福島県労働委員会事務局
福島市杉妻町2-16 県庁西庁舎8階
mail: labour-rc@pref.fukushima.jp

三島町の人口と世帯 (7月1日現在)

人口	2,005	+6	出生	3
男	957	+4	死亡	3
女	1,048	+2	転入	7
世帯	841	+5	転出	1

※住民基本台帳による数値です。

世界中の人たちが同じ情報をいつでも得られる時代。だが、ここにしかないもの、ここにしかない暮らしはここでしか語り継がれない。交流センター山びこを拠点に地域の歴史、人々の暮らしの文化など三島町に関する「記憶」を綴る。

地域の記憶をつづる①

大石田の虫かごづくり 交流センター山びこ



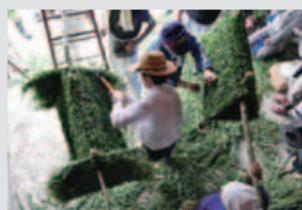
虫かごづくりは、メドハギ（マメ科の多年草）と呼ばれる草を集める作業から始まる。集められたメドハギは長さによって分けられ、虫かごの底から側面を覆う部分、ふたの部分、つかくしといわれる部分に、それぞれ適した長さのメドハギが使われる。

虫かごの基礎は木組みで出来ており、メドハギ採取と並行して雑木を伐つてくる。虫かごは2つの又木（またぎ）を軸とし、又木の2本足を底にして細い棒を4本くりつける。さらに固定するため、筋交いの要領で、棒を



1本、又から足にかけてくりつける。又になつていく部分には担ぐための太く長い棒をくりつける。木組みが出来たら寸法を測り、それに合わせてメドハギを編んでいく。

メドハギを編むためには編み板という専用の道具が必要で、昔から使われているものを使用している。細長い板に1センチ程度の溝があり、一定の間隔を開け、そこに編み紐を巻いたボルトを両側にたらす。編み方はまず、編み板にメドハギをのせて、ボルトを交互に絡ませて編む。メドハ



ギを順次つぎたす場合は、穂先側と幹側を交互につぎたす。編み方が終わると、編んだメドハギを地面に敷き、その上に木組みを置いて、底と側面を覆い、木組みに紐でくりつける。それが終わると、はさみを使って両端を整える。次にふたの部分を、突き出ている又木の1本足に紐でくりつけ、はさみを使って三角形になるように整える。最後に、つかくしといわれる部分をつくる。メドハギを束ねて結び、それを又木の1本足に被せ、紐でくりつける。



2

- 1 雨の中、虫かごや松明を持って集落を練り歩く子どもたち
- 2 虫送りの行列は集落を抜けて焼き場まで来ると、最後に道具をすべて燃やし、行事を終えた

年中行事 虫送り 大石田地区



1

年中行事「虫送り」は7月9日、大石田地区で行われました。この行事は農作物に害のある虫を追い払い、豊作を祈願するものです。地区の子どもたちが代々継承してきましたが、子どもが少なくなつた現在では、他の地区の子どもたちや保護者の方々も参加しています。

地区のさまざまな団体の皆さんが協力し、準備と当日の運営を行いました。また地区出身の若い世代の皆さんも帰省し協力しました。まさに地区が一つになつての行事です。子どもたちが提灯を手に行列を作り、掛け声をかけながら地区内を練り歩きました。観光客なども行列に参加した。山里の文化を体験しました。集落のはずれまで歩き、最後に松明や提灯、虫かごなど行事道具を全て燃やしました。

雨が降る中での虫送りでしたが、沿道ではこの日を楽しみにしていた地区の方々が、一家総出で軒先から見守っていました。

大石田区長の秦育雄さんは「虫送りは地区の人が毎年とても楽しみにしている行事。なぜなら町を離れた、子どもや孫が虫送りのために戻ってくるから。虫送りを実行するのはとても大変だけど、一つの行事を成し遂げること、地域が一つにまとまる。虫送りは地域のきずなを守っていくうえで非常に大切な行事なんです。これからも力を合わせて虫送りを守っていかなくてはなりません」と話します。

大石田の皆さんが力を合わせて受け継いでいる虫送り。行事を守ることで、地域の連帯感が生まれています。





2



1

大健闘の三島小

Topic 2

三町村水泳記録会



3

両沼西部三町村小学校体育交流会水泳記録会は7月22日に金山小のプールで行われ、三島小、金山小、横田小、昭和の4年生から6年生までが参加しました。前日まで気温が低い日が続き、当日の水温は20℃。児童には少し寒いコンディションでしたが、三島小の児童は日頃から練習を積み重ね、自己ベストを目指して懸命に泳ぎました。その姿を一目見ようと、保護者の方々も応援に駆けつけました。

三島小はオープン200mリレーで、男女共に優勝し、個人種目でも多くの児童が大会新記録を出す、素晴らしい結果を残しました。

全員が最後まで懸命に泳ぎ、他校の児童たちに対して必死に応援し、大会を盛り上げました。児童たちはこの夏、さらに一皮むけ、大きく成長したようです。

三島の夏

1 素晴らしい結果を残した三島小の児童たち 2 リレー種目の直前、みんなで円陣を組み気合いを込める 3 男子オープン200mリレーで1位になった三島小Aチーム、アンカーの板橋瑞樹くん(滝原) 4 男子オープン200mリレーで1位になった瞬間。喜びのガッツポーズ 5 女子オープン200mリレーで1位になった三島小Aチーム、アンカー大竹彩花さん(名入)。猛烈な追い上げで逆転勝利。逆転の瞬間、応援の声は大きな歓声に変わった



5



4



1

カスミソウ出荷

Topic 1

花言葉は「清らかなところ」



2

カスミソウは例年5月から11月にかけて、全国12カ所の市場からの注文に応じて生産、出荷されています。

町内では4生産者が毎週3回、川井地区にある集荷場からカスミソウを出荷しています。角田亀好さん(川井)は「平成2元年からカスミソウ栽培を始め、今年で23年目になります。出荷するカスミソウは、全て同じ品質で消費者の手に届くように努力しています」と話します。

毎朝5時から花を刈り取り、剪定、包装して集荷場へと運びます。そこからトラックに積み入れ全国の市場に出荷されます。出荷先は時期によって異なり、7月・8月は主に仙台の市場へ送られます。

三島から心を込めて全国へ送られるカスミソウ。花には、贈る人、作る人の「清らかな心」が詰まっています。

三島の夏



4



3



水路に土砂や木が詰まり、水があふれ出した浅岐地区。住民の皆さんが復旧に当たった



土砂が流出した町道美坂高原線。このほか町内の林道などでは土砂崩れが多数発生した



桐の湯は浴室の床上まで浸水。ガラスが割れて濁流が流れ込み、施設を大きく損失した

豪雨災害 ダム満水、全開放流 急激に水位上昇

町内で3棟が床上浸水
7世帯16人に
避難指示・勧告

豪雨の勢いはわたしたちの想定を完全に超えていました。宮下の降り始めからの雨量は261mmを観測。上流の只見町では1時間に100mmを超える記録的な豪雨が襲い、7月29日から30日にかけて只見川の水位が急激に上昇。29日午後6時46分に宮下温泉栄光館に避難指示を出し、宿泊客13人が町民センターに避難しました。桐の湯も浸水の危険が増したため入浴客が避難しました。また午後7時20分、小和瀬の2世帯5人、小山の4世帯5人に避難勧告を出し、住民が町民センターや親戚宅などに避難しました。

只見川の水位は30日朝にピークとなり、栄光館と桐の湯、小和瀬の1世帯が床上浸水の被害を受けました。町内に出した避難指示・勧告は、30日午後3時30分までにすべて解除しました。

**橋流失や道路崩落
国道252号寸断**

9市町村に災害救助法

流域町村では甚大な被害が発生しました。金山町横田の只見川に架かる二本木橋（国道252号）が崩落するなど、金山町と只見町の道路橋4カ所、鉄道橋3カ所が流失。また大規模な浸水や土石流などにより多くの住民が被災しました。県は7月29日付で三島町を含む9市町村に災害救助法

を適用しました。多くの住民が利用する幹線国道にも被害が出ました。7月30日午後2時ごろ、国道252号柳津町飯谷字村上地内で道路が約30分にわたって崩落し、通行止めとなりました。早い復旧が望まれますが時間を要すると思われます。迂回路の通行には十分ご注意ください。

**浅岐で水路に土砂流出
集落内に水あふれる**

浅岐地区で7月28日、豪雨により集落中央の水路に土砂や木が流出して詰まり、集落内に水があふれ出しました。住民の皆さんの懸命の復旧作業により土砂が撤去され、午後8時ごろまでに水は引きました。

編集後記

▼「三島は安全だけど、只見川があふれたら、その時はどうしようもない」。小学生の頃、先生がそんな話をしていた事が遠い記憶の中によみがえってきます。20年近くの歳月を経て、まさか現実になるとは想像もしていません▼只見川が氾濫することなど、普段ならおかしな冗談としか受け取れないでしょう。しかし、災害では想定外の事が起きます。むしろ想定外だから災害になるのだと思います。人間はどうあがいても自然には勝てません。災害は必ず起きると考えて行動すべきです▼とはいえ、豪雪、地震、原発事故、風評被害、そして今度は豪雨。「なんでこんなに災害もなります。しかし災害を通して今、それぞれの大切なモノをもう一度考える時なのではないでしょうか▼幸いにも町内では人的被害はありませんでした。何はともあれ、命があればこそ的人生です。